

# 教科書検討の観点から見た特色

## 高校生の美術3 (116 日文・美Ⅲ-702)

### 1 学習指導要領との関連

主要な観点	編集上の特色	ページ
学習指導要領全般	●学習指導要領に示された「芸術科」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することができるように、幅広い視点から題材を設定した。	●教科書全般
「美術Ⅲ」の目標との関連	●学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「美的体験」を豊かにし、「生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成できるように適切に題材を選択し、配列した。 ●題材の設定については、「美術Ⅰ・Ⅱ」、の幅広い美的体験の上に立ち、高校生の造形的な発達に応じた取り扱いができるように配慮した。 ・学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて、全題材で学びの目標を三つの観点で示し、指導と評価の視点を明確にした。	●教科書全般
表現及び鑑賞の活動の取り扱い	●全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるよう配慮し、表現題材においても鑑賞活動を一体化させた。 ●表現題材では、「発想や構想に関する資質・能力」を育むために作例を多く示し、スケッチや制作過程などを示して「技能に関する資質・能力」が身に付くように配慮した。 ●鑑賞題材では、「美術作品などに関する鑑賞」だけではなく、「美術の働きや美術文化に関する鑑賞」にも重点を置いて題材を設定し、作品を精選して示した。	●教科書全般

### 2 資質・能力の三つの柱との関連

主要な観点	編集上の特色	ページ
知識及び技能の習得	●題材のポイント、主文、作品解説、学びの目標を〔共通事項〕(知識)への意識を促す内容とし、学習を通して造形的な見方・考え方を深められるように配慮した。 ●題材に固有な技法や制作過程、資料などを題材ページ内で解説し、主題にあわせて創造的に表す技能を育めるよう配慮した。 ●色彩については、理解を深め学習に生かせるように各題材ページで取り上げ、本文中でも色が作品に与えるよさや効果について考えることを促すような内容にした。	●教科書全般 ●11,25,31,33,42・43, 45 ●22・23
思考力、判断力、表現能力等の育成	●表現題材では、ポイントや主文の内容に、発想や構想と鑑賞の双方で働く「中心となる考え」を盛り込み、また発想し構想したことが鑑賞に生かされるように工夫した。 ●オリエンテーションや作家インタビューのページなどを設定して、表現と鑑賞どちらにも共通する見方・考え方を学び、思考力・判断力・表現力などを育成できるように工夫した。 ●スケッチやデッサン、生徒作品を掲載するページを設けるなど、表現活動を行うときに生徒が発想や構想の手がかりとなるように配慮した。 ●鑑賞の題材では、美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深められる内容を積極的に取り上げた。	●10・11,24・25,30・31, 38・39, ●2-9,17,25,35,45, 50・51 ●10・11,23,30・31, 32・33,34・35,42,45, 48・49 ●6-9,16-19,20・21, 36・37,46-47
実感を伴う鑑賞活動への配慮	●作品の大きさの体感や作者の表現の工夫が読み取れるように、実物大で作品を掲載した。 ●円形の穴を中心に開けたページを掲載して、ページをめくりながら見ることを提案するなど、実感を伴う鑑賞活動ができるように工夫した。 ●現在活躍している作家・作品を多く取り上げ、高校生に美術への親近感を持ってもらえるように工夫した	●18・19 ●6-9 ●教科書全般
学びに向かう力、人間性等の涵養	●各題材の本文の多くを問いかける文体にして、その解決に結びつく視点や考え方を、ポイントや学びの目標に盛り込み、学習に主体的に取り組めるよう工夫した。 ●生徒に生涯にわたって美術を愛好し、美術を通して人と人、人と社会が繋がっていることを実感できるように、資料として「見方を変えると広がる世界」というページを設けた。	●教科書全般 ●50・51

高校生の美術3

高校生の美術3

### 3 学習効果への配慮

主要な観点	編集上の特色	ページ
編集意図の新鮮さ・明確さ	●学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて、資料以外の全題材で「学びの目標」を三つの観点で示し、指導と評価の視点を明確にした。 ●二次元コードを必要に応じて入れ、機器で読み取ることにより、関連する内容の資料や動画と関連付けて学習できるように工夫した。 ●必要に応じて作家のインタビューを掲載し、制作の姿勢、作品に込めた意図など多角的に作家や作品を捉えることで、生徒が創造する意味を主体的に考えて、深い学びに繋げられるように配慮した。	●教科書全般 ●教科書全般 ●3-5,17,25,35,45,51
内容の程度、正確性への配慮	●掲載作品には、解説文や作者の言葉を付けて学習に役立つように工夫した。 ●日本人作家、撮影者、読みにくい作品名、日常あまり使われない用語などには振り仮名を付けるなどして、学習に役立つように配慮した。 ●作品と作家の情報は、詳しく、正確で、分かりやすい表記を心がけた。	●教科書全般
他教科との関連	●国語科や地理歴史科の教科書で紹介されている作家や作品、コンピュータを使ったCG作品、アニメーションなど他教科で取り上げられる内容を積極的に取り上げた。	●38-47
主体的・対話的で深い学びとの関連	●各題材の本文の多くを問いかける文体にし、その解決に結び付く視点や考え方を、ポイントや学びの目標に盛り込むことで、見方・考え方を働かせて、主体的・対話的で深い学びが推進されるように工夫した。	●教科書全般
時代への適応性及び環境への視点	●一目で分かりやすい情報伝達の方法などを、インフォグラフィックスやデジタルサイネージといった事例を通して紹介し、情報化が進む社会におけるデザインのあり方を紹介した。	●30・31,40・41
人権尊重などへの視点	●他者との学び合いや話し合いの場を通して、学びの中から男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるよう、題材の設定や掲載作品の選択に配慮した。 ●報道写真のページでは、国内外の戦争の被害を伝える写真を掲載し、平和への願いについて作品を通して考える題材を設定した。	●教科書全般 ●38・39
知的財産権や肖像権に関する配慮	●自己や他者の作品を尊重する態度を育み、美術に関する知的財産権や肖像権などについて理解を深められるように、目次ページに注意書きを示した。	●5
我が国及び諸外国の美術文化についての視点	●日本美術の題材を設定し、我が国の美術文化への理解が深まるように工夫した。 ●近代の日本の画家が、西洋の絵画に影響を受けて作風を発展させたことを紹介し、日本のみならず諸外国の美術文化を理解する手がかりとなるよう配慮した。	●教科書全般 ●20・21
デジタルコンテンツの充実	●二次元コードを掲載し、機器で読み取ると当該ページに関連する資料や動画などを参照できるように工夫した。	●教科書全般

### 4 造本・体裁

主要な観点	編集上の特色	ページ
印刷	●美術の教科書にふさわしく、作品のよさが正しく伝わるように、鮮明で、美しい印刷を心がけた。また、印刷用紙も印刷に最適な用紙を厳選した。	●教科書全般
製本	●判型はA4判とし、広い紙面を確保した。 ●製本方式は、折ごとに糸でかがり表紙をつける形式で、破れにくく堅牢な造本にした。	●教科書全般
安全性について	●印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して植物性インキを使用した。また、表紙の表面加工にも配慮し、教科書を使用するにあたっての健康上の安全性に留意した。	●教科書全般
環境への配慮	●用紙は、表紙・本文とも再生紙を使用し、環境への配慮を十分にした。	●教科書全般